

第27回 経営協議会（書面による審議）議事録

依頼日 平成22年12月27日

依頼文 別紙のとおり

議 事

1. 国立大学法人和歌山大学中期目標・中期計画の変更について

平成22年12月27日付け文書による書面審議の結果、了承された。

（以下、外部委員からの意見など）

折角尋ねていただいたので、コメントとして、以下に記しておきます。

今回の変更は、研究科に「観光学研究科」が設置されるにつき、収容定員の調整を行ったものと理解しています。それぞれの研究科において、現在の充足率がわからないので、何とも言えませんが、脈絡から推測して配分には十分に考慮されているものと思います。

学部卒業生にとって、修士号や博士号の獲得が何をもたらすのか、いまひとつははっきりしていないのが我が国の有り様だと思います。この点から見て、一般的に観光学そのものがはっきりと確立していないという現状にあって、成功のカギは、観光学修士号を獲得して何がメリットになるかを学生に提示できるかどうかにあると思います。言葉を変えれば、提供者である大学が学生に対して、研究科を終了した後どんな人間に育てて欲しいのか、そのイメージが語れることです。シラバス等はきちんと立てていただけるとは思いますが、やはり良い学生が確保できるのか、良い就職先が見つけられるのかという、事前事後が大きな課題です。少人数からスタートするので、よい細かい対応が可能であることから、課題解決のため十分な戦術を立てるように期待しております。

以 上